

舞う予定です。多くの方から来ていただけるような手立てを、実行委員会の中で検討していきます。

問 宮城県松島町の「災害時における相互応援に関する協定」を進めているが、元祖芋煮会in中山への出店等を依頼してはどうか。

答 6月30日の協定締結後にお招きしたいと考えますが、60周年記念事業としては、松島町のかきまつりでの中山町の物産の販売や、ひまわり温泉ゆ・らでの松島町の物産市の開催を予定しています。

問 我が町に来てもらう手立てとして、もっと商工観光にウエイトを置き、当初予算の段階でアイデア等を盛り込み、適正な予算を確保してほしい。

答 第5次総合計画の前期5年が平成27年度までですので、平成27年度は後期5か年計画について、商工費も含め、重点施策や事業の見直しを行い反映したいと考えています。

問 道路橋梁維持費と公園費合わせて約850万円計上されている技能習得入職促進事業業務の内容と委託先は。

答 せせらぎ公園を主とする公園管理等のノウハウを研修していただき、今後の就職等に資するという事業で、(株)中山町商工観光公社

の商品を再提案していくことを積み重ねていくことになります。観光客と町内事業者を結び付け、自立した取り組みとなる事業を引き続き検討してまいります。

問 町では、山形DCでは芋煮会の発祥地をメインとした事業を提唱しているが、町産業に経済的な効果をもたらす新たな商品について、町内の生産農家や飲食店等とタイアップし開発する考えはないか。

答 町が活気づけば人も元気になる、中山町第5次総合計画に掲げられている「町民と行政の協働のまちづくり」にもつながるのではないかと考えています。

問 山形DCは6月14日から9月13日まで開催されますので、その結果を踏まえて旅行商品等を再検討したいと考えています。観光振興につながる商品の開発については、新商品の開発を行いたい方がいれば、アドバイスをを行う国県等の事業の紹介等の支援を行いたいと考えています。

渡辺 博文 議員



① 町防犯街路灯のLED化推進について

問 防犯灯は町内会で管理されて

への委託を予定しています。

問 町民プール改修工事設計監理委託料が約400万円と工事請負費の約10%となっているが、もっと低く抑えられるのではないかと低く抑えられているのではないかと考えています。

答 建築士協会が定める指針の簡易率に基づいて算出しましたが、精査の上新たに設計を行い発注したいと考えています。

一般質問

堀川 政美 議員



① 大規模地震対策におけるインフラ整備について

問 関東学院大学教授らの調査において、東日本大震災による地盤の液状化が、山形県では唯一、中山町で確認されたことが新聞報道されているが、その調査結果を踏まえ伺いたい。

- (1) 大震災当時、町内で液状化が確認された箇所は、この度の調査結果の地点なのか。
- (2) 将来の大規模地震発生も予測されるが、今後の道路・下水道等のインフラ整備をどう考えているか。
- (3) 豊田4地区の農業集落排水処理

施設については、古い施設から公共下水道へ接続・統合する計画と聞いている。大規模地震等への対応として喫緊の課題と思われるが、どう考えているか。

答 (1) 東日本大震災直後に、梅ヶ枝町内の2か所で局所的な噴砂や出水を確認しており、この場所を同教授が発見地点としていると思われまます。ただし、液状化が疑われる箇所として県に報告してはいますが、認定はされていません。

(2) 対処療法型から予防保全型維持管理への転換により、社会インフラの長寿命化、維持管理コストの縮減を図るとともに、国の交付金を活用した計画的な修繕、長寿命化計画の策定に向け準備を進めています。

(3) 使用開始から30年になろうとしている岡及び土橋の処理区は、公共下水道へ接続すべく、地元説明会や県との事前協議を行い、事務手続きを進めるための業務を今年度から始めています。

山形盆地断層帯地震等の懸念がある中、町民の社会資本に対する安心度を高めることは喫緊の課題であり、以上のことを着実に進める考えです。

② 町の観光振興施策について

問 県は、山形DC(デスティ

運行しているのか。

また、35か所のバス停のうち、15か所前後が交差点や横断歩道、カーブの途中に設置されている。なぜ、危険な場所にバス停を設置しているのか伺いたい。

答 フリーストップ区間の導入の際は、町営バス運行業者に対しては、安全な停車位置の確保及び発車の際の安全確認の徹底等を指導しております。利用者に対しては、ルールを守ることや、降りた直後の道路横断はしないことなどの周知徹底を図っています。また、フリーストップ区間では各所に看板を設置し、町営バスの接近を知らせる町民歌を流したり、さらに、運行当初1か月間は安全指導を行う添乗員を配置するなど安全対策に努めてきました。

35か所のバス停については、利用者の利便性と乗降時の安全性等を総合的に勘案して設置していますが、再度点検の上、問題のある箇所については移動したいと考えています。

③ 日常業務のIT関連システムとOA及び情報管理とセキュリティについて

問 行政における日頃の業務において、外部業者とのデータのやり取りは、CDやDVD、USBメモリー、添付メール等で行っていると思われるが、大量の町関係情報、町民の個人情報に当たり、一番何に注意してOA業務を行っているか伺いたい。

モリ、添付メール等で行っていると思われる。データ流出の可能性が高い現代において、大量の町関係情報、町民の個人情報を扱うに当たり、一番何に注意してOA業務を行っているか伺いたい。

答 町の各情報システムが取り扱う情報を、不正アクセスや不正操作、災害等の様々な脅威から防御することは、町民の財産、プライバシーを守るためにも必要不可欠であり、最も注意しているところです。

このため、サーバーを庁舎内に置かないクラウドシステムを導入し、災害時の業務継続性やハッカー対策等を向上させてきました。インターネット接続に関しては、接続先のデータセンターにおいてアクセス監視やウイルスチェック等のセキュリティ対策を講じています。

さらに、今年度からはネットワークで使用している全パソコンについて、USBメモリー等へのデータの複写等に制限を設け、操作履歴を記録管理することにより、個人情報等の一層の適正管理を徹底したいと考えています。



▲やまがたDCキャラクターきてけるくん

ネーション・キャンペーン)後の10年間を見据え、山形の新たな観光を創造し、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを継続的に実践し、まちづくりとしての観光振興を目指すとしている。

答 町では、旅行者向けイベント・観光素材等提案集に7つの事業を提案していますが、これらをきっかけとし、町内事業者による自立した取り組みへとシフトさせていくことが必要と考えています。

具体的取り組みの一例としては、芋煮会や芋煮を提供できる商品を整え、広くPRして販売数を確保し、改善を加えながら魅力あ